

## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 岡本硝子株式会社

コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス部長 (氏名) 阿部 裕

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,601	△9.6	24	△40.5	△47	—	△102	—
28年3月期第2四半期	2,878	△7.1	41	211.0	18	△63.0	22	0.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △103百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 7百万円 (△75.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	△5.43	—
28年3月期第2四半期	1.43	1.42

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,395	—	1,159	—	18.1	—
28年3月期	6,674	—	1,262	—	18.9	—

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,159百万円 28年3月期 1,262百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,581	4.5	138	—	27	—	6	—	0.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	18,950,540 株	28年3月期	18,950,540 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	709 株	28年3月期	709 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	18,949,831 株	28年3月期2Q	16,112,231 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、雇用増加を背景とした好調な個人消費により景気の拡大を続け、ヨーロッパ地域では、英国、ドイツなどで景気が回復しており、中国では、消費は堅調なものの固定資産投資の弱い伸びと低調な輸出により景気は減速しております。日本経済は、底堅い個人消費により緩やかな回復基調が続いておりますが、輸出、設備投資が横ばいになるなど、景気は弱さをみせております。

プロジェクターへの需要は、日本では堅調でありましたが、南米で景気低迷が継続していることの影響、欧州を中心とした教育関係需要の低迷、北米での小売店段階での在庫調整などにより全体としては低調であり、これに加えて、プロジェクター製造のサプライチェーンが、今年4月以降に発生した熊本地震の影響を受けたことから、当社グループのプロジェクター用反射鏡及びフライアイレンズへの需要は減少いたしました。

本社工場(千葉県柏市)の反射鏡を製造するガラス溶融炉1基を今年4月に停止することなどにより固定費削減が進んだことで収益性は改善し、営業利益は黒字化いたしました。今年9月には、本社工場(千葉県柏市)の自動車製品等を製造するガラス溶融炉1基を定期炉修のため停止いたしました。

当第2四半期累計期間の米ドルの平均為替レートは105.26円、当第2四半期累計期間末の米ドル為替レートは101.12円となり、前連結会計年度末の米ドル為替レート112.69円より円高が進んだことから、輸出に伴う米ドル建て債権の決済及び四半期末時点の為替相場による評価替などで為替差損45百万円が発生いたしました。

取得に際し補助金の交付を受けているフライアイ製造設備の一部について他の事業に転用する財産処分が承認されたため、補助金返還損17百万円を特別損失に計上し、固定資産圧縮額戻入益9百万円を特別利益に計上いたしました。今年5月に募集開始した希望退職につき、9月から10月初旬に応募者29名全員が退職し、これに伴う希望退職関連費用43百万円を特別損失に計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,601百万円(前第2四半期連結累計期間比9.6%減)、経常損失47百万円(前第2四半期連結累計期間の経常利益は18百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失102百万円(前第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①光学事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は1,859百万円と前年同期と比べ307百万円(14.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は287百万円と前年と比べ137百万円(32.4%)の減益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比で4.1%減少し、売上高は11.3%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で11.4%減少し売上高は14.7%減少いたしました。

#### ②照明事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は294百万円と前年同期と比べ49百万円(14.4%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は79百万円と前年と比べ35百万円(80.7%)の増益となりました。一般照明の売上高は減少しましたが、カーナビ用等特殊カバーガラスの売上高が増加しました。固定費の削減と設備稼働率の向上により増益となりました。

#### ③その他

当第2四半期連結累計期間の売上高は447百万円と前年同期と比べ79百万円(21.7%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は106百万円と前年と比べ85百万円の増益となりました(前第2四半期連結累計期間のセグメント損失は191百万円)。フリット(ガラス粉末)と銀ミラー(Hi-Silver®)の売上高が増加いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて279百万円減少し、6,395百万円となりました。

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ196百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が375百万円減少し、受取手形及び売掛金が196百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円の減少となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ279百万円の減少となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ31百万円の減少となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が53百万円減少し、短期借入金が102百万円増加し、未払金が83百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ144百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が119百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は176百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ103百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が102百万円減少したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「営業外収益及び営業外費用の発生、平成29年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異並びに通期予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はございません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	776,671	401,020
受取手形及び売掛金	829,801	1,026,229
商品及び製品	525,426	599,505
仕掛品	451,181	389,221
原材料及び貯蔵品	58,821	59,747
その他	124,280	93,639
貸倒引当金	△16	△23
流動資産合計	2,766,166	2,569,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,321,223	1,269,725
機械装置及び運搬具(純額)	774,519	752,405
土地	703,014	703,014
リース資産(純額)	76,105	59,424
その他(純額)	605,310	638,227
有形固定資産合計	3,480,174	3,422,797
無形固定資産	13,861	14,499
投資その他の資産		
投資有価証券	313,771	286,429
その他	100,772	102,256
投資その他の資産合計	414,544	388,685
固定資産合計	3,908,580	3,825,982
資産合計	6,674,746	6,395,323
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,803	405,666
短期借入金	124,000	226,000
1年内返済予定の長期借入金	633,977	626,177
リース債務	55,070	48,541
未払法人税等	14,653	10,292
賞与引当金	49,239	47,678
未払金	286,281	203,167
その他	97,269	120,177
流動負債合計	1,719,294	1,687,700
固定負債		
長期借入金	3,325,079	3,205,459
リース債務	49,371	27,397
繰延税金負債	21,166	21,170
退職給付に係る負債	241,144	236,689
資産除去債務	41,405	42,977
その他	14,635	14,635
固定負債合計	3,692,802	3,548,329
負債合計	5,412,096	5,236,030
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,070,121	2,070,121

資本剰余金	309,093	309,093
利益剰余金	△1,164,525	△1,267,380
自己株式	△421	△421
株主資本合計	1,214,268	1,111,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,135	29,976
為替換算調整勘定	29,082	17,581
退職給付に係る調整累計額	△11,836	322
その他の包括利益累計額合計	48,381	47,879
純資産合計	1,262,649	1,159,293
負債純資産合計	6,674,746	6,395,323



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,878,867	2,601,640
売上原価	2,165,090	1,925,929
売上総利益	713,777	675,711
販売費及び一般管理費		
役員報酬	35,640	37,661
給料及び手当	205,182	189,519
退職給付費用	8,936	9,372
減価償却費	20,305	19,137
旅費及び交通費	26,719	21,264
支払手数料	34,431	33,164
運賃	42,131	40,148
賞与引当金繰入額	21,103	18,529
研究開発費	127,706	109,875
その他	150,064	172,325
販売費及び一般管理費合計	672,220	650,997
営業利益	41,557	24,713
営業外収益		
受取利息	250	87
受取配当金	3,677	2,551
為替差益	5,527	-
助成金収入	47,871	32,145
業務受託料	14,447	11,486
その他	3,936	3,654
営業外収益合計	75,710	49,925
営業外費用		
支払利息	35,574	31,932
為替差損	-	45,930
持分法による投資損失	56,707	29,556
その他	6,700	14,902
営業外費用合計	98,982	122,322
経常利益又は経常損失(△)	18,286	△47,683
特別利益		
固定資産売却益	1,974	-
投資有価証券売却益	15,714	-
国庫補助金受贈益	9,738	-
固定資産圧縮額戻入益	-	9,483
特別利益合計	27,427	9,483
特別損失		
固定資産除却損	4,579	0
固定資産圧縮損	4,395	-
補助金返還損	-	17,669
希望退職関連費用	-	43,413
特別損失合計	8,974	61,083
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	36,738	△99,284
法人税、住民税及び事業税	14,138	3,397
法人税等調整額	△363	173
法人税等合計	13,774	3,571

四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,964	△102,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	22,964	△102,855

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,964	△102,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,450	△1,159
繰延ヘッジ損益	△131	-
為替換算調整勘定	△8,721	△11,501
退職給付に係る調整額	△345	12,159
その他の包括利益合計	△15,648	△501
四半期包括利益	7,316	△103,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,316	△103,356
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	36,738	△99,284
減価償却費	180,651	127,459
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,964	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,014	△1,561
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,430	7,704
受取利息及び受取配当金	△3,928	△2,638
支払利息	35,574	31,932
為替差損益(△は益)	6,492	△5,124
持分法による投資損益(△は益)	56,707	29,556
国庫補助金受贈益	△9,738	-
固定資産圧縮額戻入益	-	△9,483
固定資産売却損益(△は益)	△1,974	-
固定資産除却損	4,579	0
固定資産圧縮損	4,395	-
補助金返還損	-	17,669
投資有価証券売却損益(△は益)	△15,714	-
売上債権の増減額(△は増加)	△285,895	△202,146
たな卸資産の増減額(△は増加)	△50,585	△13,698
仕入債務の増減額(△は減少)	106,105	△49,931
その他の資産の増減額(△は増加)	△42,766	27,260
その他の負債の増減額(△は減少)	△34,033	△649
小計	2,017	△142,929
利息及び配当金の受取額	3,928	2,638
利息の支払額	△34,327	△28,853
法人税等の支払額	△25,685	△7,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	△54,067	△176,902
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600	△600
定期預金の払戻による収入	3,600	-
投資有価証券の取得による支出	△3,449	△3,544
投資有価証券の売却による収入	42,057	-
国庫補助金による収入	9,738	-
有形固定資産の取得による支出	△128,927	△131,536
有形固定資産の売却による収入	2,500	-
無形固定資産の取得による支出	△870	△2,946
貸付金の回収による収入	340	99
その他の支出	△2,042	△1,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,654	△140,130
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△15,460	102,000
長期借入れによる収入	534,934	550,000
長期借入金の返済による支出	△324,039	△677,419
新株予約権の発行による収入	3,240	-
株式の発行による収入	156,304	-
リース債務の返済による支出	△49,191	△28,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	305,788	△53,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,371	△4,694
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	170,694	△375,650

現金及び現金同等物の期首残高	244,925	776,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	415,620	401,020

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

前第2四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付第8回新株予約権の一部行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ78,556千円増加し、前第2四半期連結会計期間末において資本金が1,840,946千円、資本剰余金が79,917千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,167,423	343,509	2,510,932	367,934	2,878,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,167,423	343,509	2,510,932	367,934	2,878,867
セグメント利益又は損失(△)	425,284	43,750	469,035	△191,909	277,125

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、フリット、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	469,035
「その他」の区分の損失(△)	△191,909
全社費用(注)	△235,567
四半期連結損益計算書の営業利益	41,557

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,859,793	294,001	2,153,795	447,844	2,601,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,859,793	294,001	2,153,795	447,844	2,601,640
セグメント利益又は損失(△)	287,632	79,050	366,683	△106,228	260,454

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、フリット、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	366,683
「その他」の区分の損失(△)	△106,228
全社費用(注)	△235,740
四半期連結損益計算書の営業利益	24,713

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。